

復興ニュース

企業の東日本大震災支援

東日本大震災の復興に向けて、企業とNPO等ができること——3年目の支援を考える——

2月25日、日経連の「1%（ワンパーセント）クラブ」の招待による「東日本大震災の復興に向けて、企業とNPO等ができること～3年目の支援を考える～」のシンポジウム（於：日経連ビル）へ出席して来ました。出席者は企業96社139人、NPO関係から39団体による大シンポジウムでした。（NPO法人夢ネット大船渡 理事長 岩城恭治）

(一社)日本経済団体連合会
社会貢献推進委員会
1%（ワンパーセント）クラブ

●多くの企業とNPO団体が交流

★最初に、さわやか福祉財団理事長の堀田力氏から基調講演がありました。

★次に助成団体から見た今後の課題等について3団体から報告を受けました。中央共同募金会の城千聡氏より、震災から2年目を迎え、活動を始めた被災者からも応募も増えた。そうした活動を支え続けていくために募金、ボラサポを継続するため応援してください。

★1%クラブ委員長の佐藤正敏氏のコーディネーターにより、NPO側から3団体が発表しました。がんばっと玉浦（岩沼市）から、玉浦産の農作物や生製品のPRだけではなく、田舎や農村に求められているニーズを探り事業に反映させたい等の発表がありました。企業側からは、味の素社とNTTドコモ社の被災者支援活動が紹介されました。

★交流会では、出席NPO団体から1分間の団体紹介と企業へ求めたい発表がありました。夢ネット大船渡からは、これまでの支援のお礼に続いて、復興手芸品カタログ作成を利用した会社のイベントでの販売、復興ニュースへの広告費支援をお願いしました。

●多くの企業が気仙に支援に来ていました

日経連1%クラブの報告書（2012年10月発行）によれば、支援方法は企業ごとに色々アイデアを生かした支援でした。被災地の商品販売、社員のボランティア派遣、会社の特技を生かした支援、資金の寄付、自社商品販売益の一部寄付、被災地企業への直接支援、東北復興ツアーの実施、被災地のNPOの支援等々でした。

また、社会貢献活動実績調査の事例集（201社377事例）によれば、被災地名を具体的に記載している企業を数えますと、陸前高田市が32企業、大船渡市が22企業、住田町が5企業が記載していました。具体的な市町村名は書いていませんが、岩手県と記載している企業も多くあり、大多数の企業が気仙地域を支援していました。

●企業による被災地支援の効果

被災地支援の効果について、次のように各企業がふれています。その内容の一部を紹介します。

◆ボランティア活動を通じて、建設業が担うべき社会的役割を認識する一方で、企業市民として社会に貢献することの意義を正しく理解し、今後の業務や社会生活に活かしていける人材の育成に寄与した。



陸前高田市で泥上げのボランティア

◆復興ボランティア活動参加は、新入社員に被災地の現状を目の当たりにした上で、自分がすべきことを考えさせるよいきっかけとなり、CSR(企業の社会的責任)意識の醸成に効果的であった。更に、チームワークや主体性、行動力の重要性を学ばせることができ、メンバー同士の連帯感や会社への帰属意識向上に役立った。

◆継続的なボランティア支援により、被災地との関係が深まり、社員自らが企業として個人としての支援のあり方や社会との関わり方を考える機会となった。

◆参加した社員の多くは、被災地の状況を目の当たりにすることで、さまざまな気付きを得ることが出来た。

◆「化粧によって元気が出来た」「気持ちが明るくなった」等々、参加した社員も社業である化粧の力を認識し、自社および業務に誇りを感じる事が出来た。

●2013 年度も支援を続けたい

次世代育成・教育支援や産業再生・雇用創出支援を中心に、引続き、多くの企業が自社の持つリソースやノウハウ等を活用して、多様な復興支援活動に取り組んでいきたいと言われます。

被災地としても、こうした企業や全国の人たちの支援に応え、安心して暮らせる住宅環境や地場産業の復興へ向かって、共に手を携えて前進しましょう。

パソコン受講者募集 初心者歓迎！

平成 25 年度 4 月期生を募集します。

★講習内容

ビジネスに絶対必要な①ワード(文書作成応用)、②エクセル(表計算作成応用)、③パワーポイント(プレゼン作成対応)等

★講習場所

猪川町 猪川地区公民館

★講習日 週 1 回

水曜日：9：30～12：00、木曜日・金曜日：13：30～16：00

★受講料 1ヶ月 2,000 円 ★希望者は、Tel・fax (0192) 47-3271 (夢ネット大船渡)



JR大船渡線 バス運行スタート

3月2日、昨夜からの強風により前日に準備したテントも夜間に撤去(スタッフ)し、強風の中 JR のバスによる大船渡線運行が開始されました。

バスの胴体には沿線各自治体のキャラクターが描かれ、住民から好かれる車両となっています。



おおふなトン



たかたのゆめちゃん



海の子 ホヤぼーや



トム君・ホメちゃん



わんこきょうだい



むすび丸

～各キャラクターの説明～

- おおふなトン＝銀河連邦サリクオオフ 共和国 PR キャクター
- たかたのゆめちゃん＝陸前高田市マスコットキャラクター
- 海の子ホヤぼーや＝気仙沼観光 PR キャクター
- トム君・ホメちゃん＝登米観光キャラクター
- わんこきょうだい＝岩手県観光キャラクター
- むすび丸＝宮城県観光 PR キャクター

陸前高田市 広田町の津波記念碑

3月11日は、満2年目の記念日となります。

あるフォーラムに於いて陸前高田市広田町には、明治29年6月15日と昭和8年3月3日に襲来した津波災害の教訓を後世に伝えるため、昭和9年3月に7つの集落それぞれに、四角い御影石でできた津波記念碑を建立し、あわせて広田小学校の校庭東側法面には記念碑の趣旨を記した碑が設置されているのを知りました。（千葉良悦記）



【広田町長洞集落の記念碑】

長洞集落	今回の震災により被災倒壊したが、現在周辺を土木工事中の為移設されている。なお浸水は、その10メートル程上部まで入り、現在浸水域表示の棒が建っています。傍に旧式の錆びた半鐘が吊るしてあったのが印象的でした。
大野集落	県道沿いの三叉路角にあり、地上部1メートル程まで浸水したそうです。
六ヶ浦集落	集落への上り口途中10メートル程の防災放送室の前に建っております
根崎集落	鶴樹神社への分かれ道にある水路脇に建っております。その前には道路を隔てて消防屯所の櫓が建っております。
久保集落	中沢浜貝塚西脇の階段を少し下った所に建っております。
泊 集落	数年前に折れたので、コミセンで保管されているそうです
大陽集落	県道広田・矢の浦線の大陽漁港への下り口10m程の所に、諸々の石仏群に混じって建っております。

今回辿った記念碑建立地は、いずれも明治29年の津波の到達地点に建てられているようですが、途中で話を聞いたご婦人の話では昔から、“この石碑から上には津波は来ないと聞いていた”が今回の津波は信じられませんでしたと言う事でした。これから先の安心のためのまちづくりで私たちが忘れてはならないのは「自然は伝統に忠実である」という事実ではないでしょうか。



（広田小東側法面の記念碑）

幾度となく繰り返される津波の惨害より逃れしむるため東京朝日新聞 全国 読者のご同情義援金の内で 寄託者の要望により 本碑を建設する
昭和九年三月建之 廣田村 村内七箇所二建

碑念記波津

明治廿九年六月十五日午後八時襲来
死亡者 全村五五三名 流失戸数一五七戸
一、大地震の跡には津波が来るよ
一、地震があつたら高所へ集まれ
一、津波と聞いたたら欲捨て逃げろ
一、低いところに住家を建てるな

昭和八年三月三日午前三時襲来
死亡者 全村四十五名 流失戸数二二五戸
石巻 石井啓三郎 判

無料法律相談

主催：ヒューマンライツ・ナウ
協力：夢ネット大船渡

今年度最後の無料法律相談です。お気軽に相談ください。

★開催日

3月30日（土）14：00～16：00

3月31日（日）10：00～12：00

★場所（予約申込先）

三鉄盛駅ふれあい待合室 Tel47-3542

3月のふれあい待合室の行事

●3月16日午後2時 カメリアホール

劇団「ともえ座」公演

●3月23日午前9時40分集合 21日締切

ふれあいウォーキング 往復5㌾

●3月26日午後1時～

復興カラオケ 参加費100円

●3月30日午前10時～13時00分

ドイツカフェ 無料

東京横浜独逸学園から先生2名・生徒5名

●3月31日午後2時～カメリアホール和室

独逸学園の高校生と地元高校生の交流会

問合せ先：三鉄盛ふれあい待合室 Tel・fax（0192）47-3542

「弁護士と語ろう」報告

3月2日、ヒューマンライツ・ナウの矢花弁護士（四谷法律事務所）から、大船渡市での無料法律相談から見た被災地の課題について報告されました。

大船渡での相談は「まともな法律問題の相談が多い」。都会では「愚痴の相談が多い」この違いは、大船渡市内には、まだまだ悩みを抱えている人が多いのではないかと。もっと愚痴や悩みを弁護士へ相談して欲しい。

また、相談の内容によっては、被災者支援を行っているNPOへ繋ぐこともあってよいのではないかとこの意見もありました。これに対し、地元NPOがどのような活動を行っているか、情報提供することにしました。

◇2013年全労済地域貢献助成事業◇ 【団体名】全労済

【応募締切】平成25年3月11日（月）～4月10日（水）必着

【助成対象】

<環境分野>

(1) 地域の自然環境を守る活動、(2) 循環型地域社会をつくるための活動

(3) 地域の自然や環境の大切さを学ぶための活動

<子ども分野> 地域の中で、学校外の多様な育ちを応援する次のような活動

(1) 子どもたちの豊かな遊びの場をつくる活動

(2) 子どもたちが交流し学びあえる場をつくる活動

※子ども自身が主体的に参画して取り組む活動を重視します。

<両分野共通で重視する活動>

・多数の地域住民、市民団体や自治会などが活動に関わることで人と人とのつながりが生まれ、コミュニティの形成、発展、再生につながるような活動

・地域に密着し継続して取り組む活動

・助成によってどう活動が充実、発展するのかが明確である活動

【助成金額】1団体助成上限額：30万円、

【対象経費】資材費、旅費交通費など活動に直接係る経費や人件費（謝金含む）が対象です。

応募要項・申請書は下記のURLからダウンロードをお願いします。

【URL】<http://www.zenrosai.coop/zenrosai/topics/2013/130212.php>

【申請書送付先】〒151-8571 東京都渋谷区代々木2-12-10

全労済 総務部内 地域貢献助成事業事務局宛

申請してみませんか？
お気軽にご相談下さい
夢ネット大船渡へ

この復興ニュースは、

東北労働金庫の「復興支援助成」を受けて発行しています。

配布ボランティアさんや情報連絡者を募集しています。

イベント周知等の投稿をお待ちしています

夢ネット大船渡 Tel・fax 47-3271



配布中のボランティアさん